

水はどこから? もしかしたら、 もしかすると

荒川上流河川事務所 × ブルーサーマルー青風大学体育会航空部ー
(新潮社/バンチコミックス)



荒川が支える「暮らしの水」

蛇口をひねればいつでも水が出る、と思っていませんか? 昨夏は統計開始以来、最も短かった梅雨の影響で、西日本を中心に水不足になりました。川の流量は季節によって変化します。そのため、荒川では上流のダム群や荒川貯水池を効率的に運用して、水を安定的に確保しています。利根川の水を荒川へ導水して、水を融通する壮大な仕組みもあります。

蛇口の向こう側へ意識を広げて、普段から水を大切に使い、節水を心がけましょう。



荒川にある秋ヶ瀬取水堰。東京と埼玉の暮らしを支えています



都市に広がる平地ダム「彩湖」

首都圏の大切な水をたたえる平地ダム「彩湖(さいこ)」。彩湖は、都市用水の安定的な供給を行うための「水がめ」です。また、彩湖と隣接する浄化施設では、水利用によって河川環境が悪化しないよう水量調整を行っています。このように、安定的な水供給を行う彩湖と、彩湖の役割を補助する浄化施設、これら2つの施設が連携し、首都圏の生活や産業を支えているのです。



荒川第一調節池にある荒川貯水池「彩湖」

利根川の水を荒川へ導水

する武蔵水路

利根導水総合事業所 で 検索



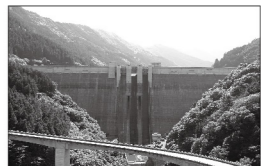
武蔵水路は、利根川上流のダムと荒川をつなぐ水の大動脈。利根川の水を荒川へ導水しています。行田市と群馬県千代田町の境、利根川に設けられた利根大堰で取水された水は、荒川の水と合わせて、埼玉・東京の暮らし水として利用されています。



利根川の水を運ぶ武蔵水路

荒川の高度な水利用を支える統合管理

荒川の上流部には二瀬ダム、浦山ダム、滝沢ダムが、下流部には荒川貯水池があり、利根川からも導水しています。気象条件や貯水状況に合わせて、導水量や河川の流量、取水量などを一元的に把握し、効率的に運用する統合管理を行っています。



荒川の上流にある滝沢ダム



荒川上流
河川事務所



荒川上流 で 検索